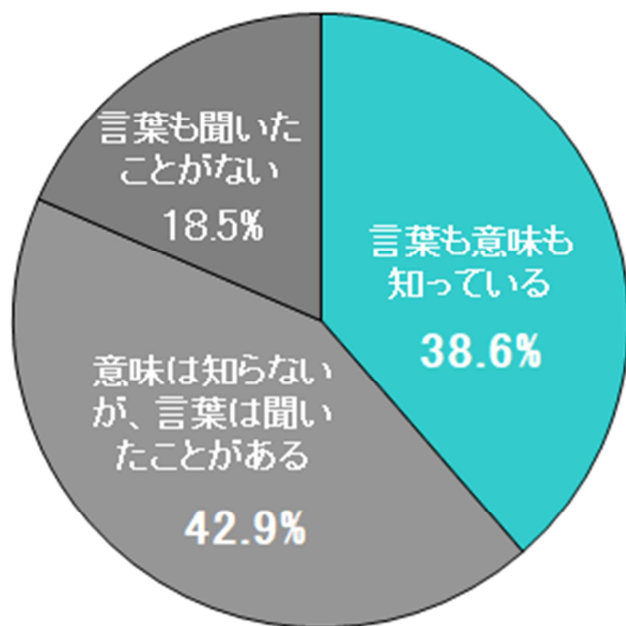


令和5年度県政インターネットモニターアンケートにおける生物多様性に関する意識調査結果（前回実施分[R2]との比較）

問1 「生物多様性」という言葉や意味について、どの程度ご存知ですか。

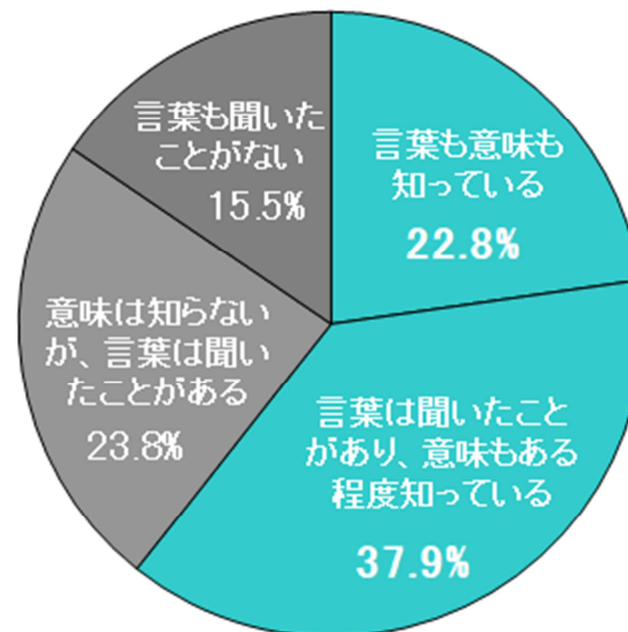
- ⇒
- ・令和5年度の調査では、質問項目を細分化し、「言葉は聞いたことがあり、意味もある程度知っている」という項目を追加した。
 - ・「言葉も意味も知っている」、「言葉は聞いたことがあり、意味もある程度知っている」を合わせると60.7%の認知度となった。
 - ・特に、20代以下が75.4%となり、高校の生物の授業や中学校での総合的な学習でテーマとなる等、教育の中で学ぶ機会があることから、若年層で高い認知度となっている。

R2



単位：% n=546

R5

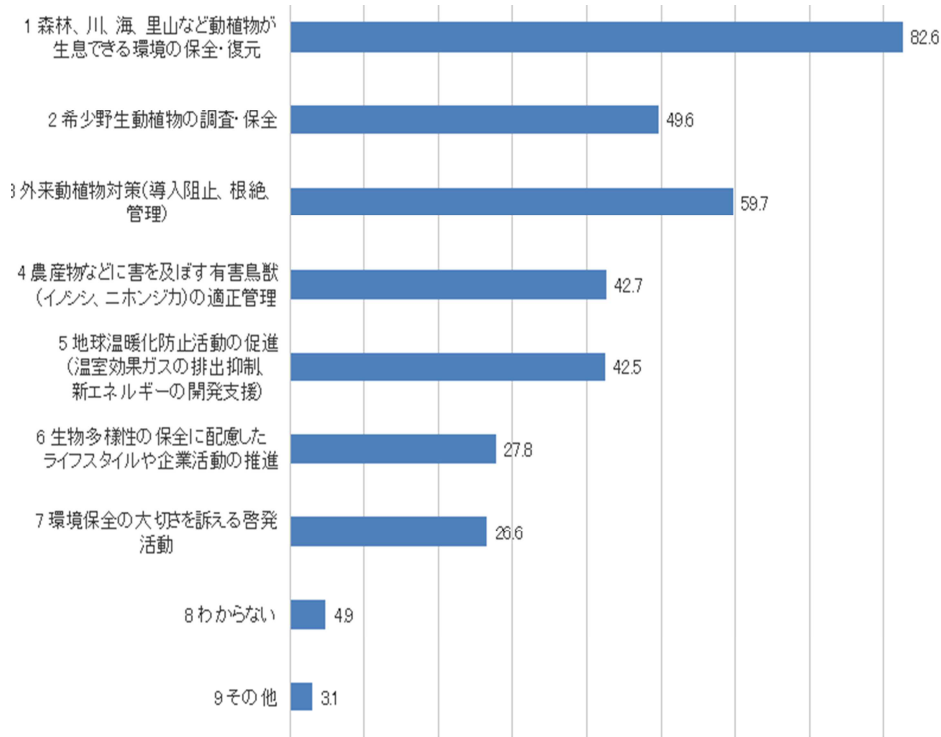


単位：% n=580

問2 生物多様性の保全を図り、自然のめぐみを受け続けるために、どのような県の取組が必要だと思いますか。(複数回答可)

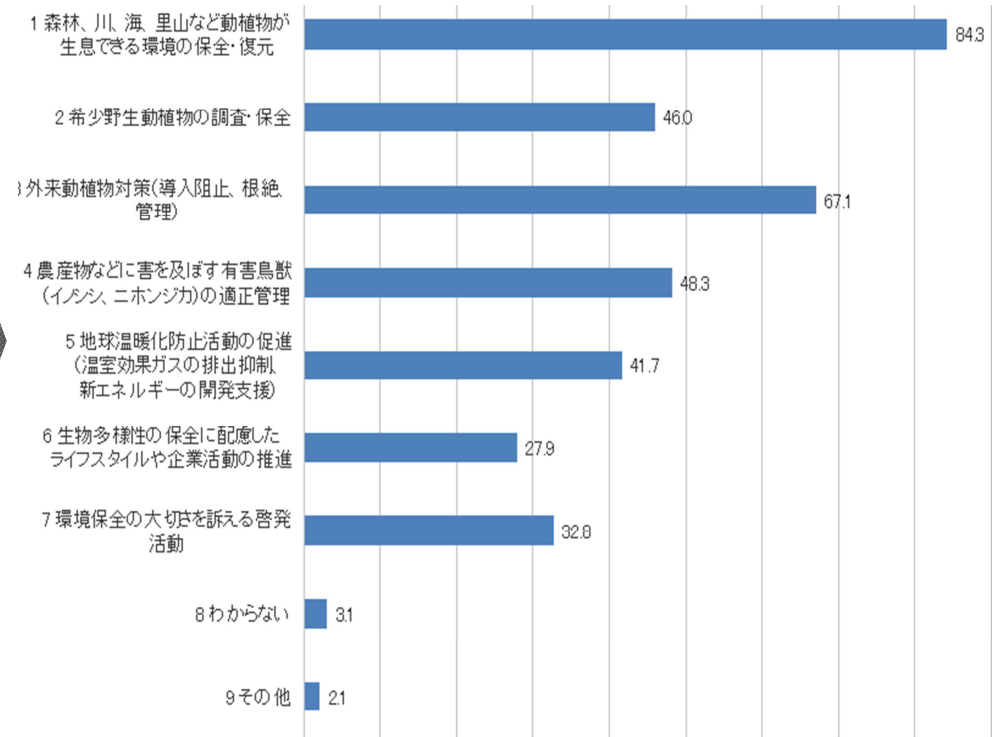
- ⇒ ・「1 森林、川、海、里山など動植物が生息できる環境の保全・復元」が、前回及び今回とも1位となった。
 ・「3 外来動植物対策」が、前回の59.7%から67.1%に上がっており、テレビ番組等で取り上げられる機会もあり、関心が高まってきていると思われる。

R 2



単位：% n=546 (複数回答可)

R 5



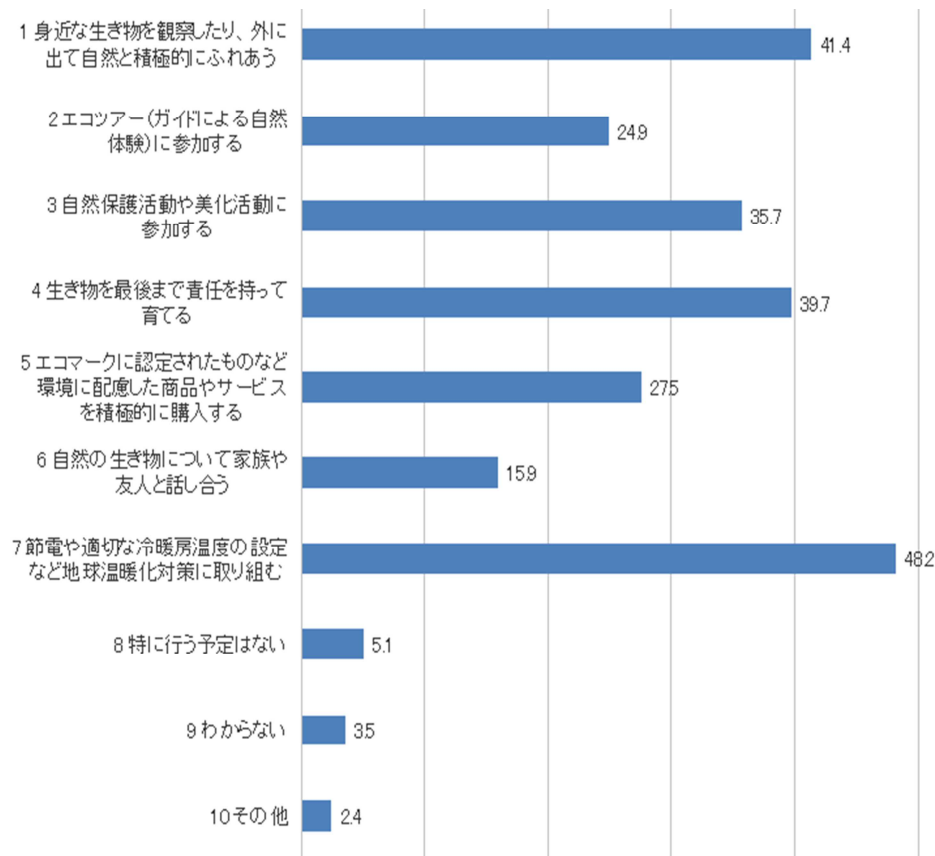
単位：% n=580 (複数回答可)

問3 あなたは、生物多様性の保全に配慮したライフスタイルとして、どのようなことを行いたいと思いますか。（複数回答可）

⇒ 「7 節電や適切な冷暖房の設定など地球温暖化対策に取り組む」が、前回及び今回とも1位となり、前回から11.8ポイント増加し、更に関心が高まっている。

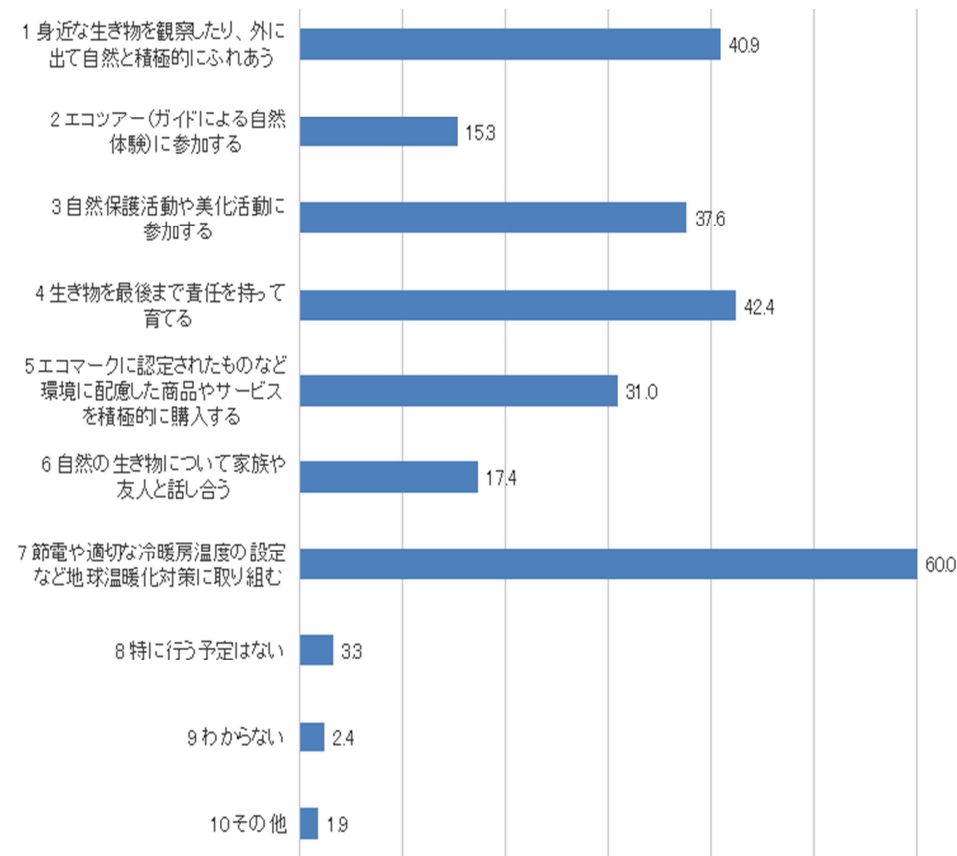
・「2 エコツアー（ガイドによる自然体験）に参加する」が、前回の24.9%から15.3%となり、前回から9.6ポイント減少している。

R 2



単位：% n=546（複数回答可）

R 5



単位：% n=580（複数回答可）